

検討依頼事項

近年、急速に進展する社会の変化や価値観の多様化の中、高等学校においては多様な入学動機や進路希望、学習経験など、様々な背景を持つ生徒が在籍している。こうした中、高等学校には、すべての生徒が自己の在り方や生き方を主体的に考え、個々の可能性を最大限に伸ばすことができる教育環境の整備が求められている。

国においては、これからの高等学校教育の在り方を検討し、高等学校において「令和の日本型学校教育」を構築するため、高等学校教育の在り方ワーキンググループが「審議まとめ」を公表した。この中では、高校教育の実態が地域や学校により大きく異なることから、教育の質の確保・向上に向けて、「多様性への対応」と「共通性の確保」を併せて進める必要があるとまとめられている。

さらに、令和7年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2025（骨太方針 2025）」において、「多様な子どもたちの特性や少子化の急速な進展など地域の状況を踏まえ、より質の高い、深い学びを実現」するため高等学校教育改革への国の支援の抜本強化を図ることとされている。

県教育委員会では、令和2年3月に策定した第三期長崎県立高等学校改革基本方針（R3～R12）において、学科やコース、教育制度等の改革の方向性を示すとともに、学校規模の適正化、適正配置などの再編整備の考え方を示している。

現在、本県においては、人口減少や教育資源の偏在といった構造的課題が進行しており、少子化の進行により生徒数が減少し、小規模校の増加や選択科目・部活動の制限、多様な意見に触れる機会の減少など、教育の質の維持が難しくなっている。特に県立高校の約半数が位置する離島半島部では、募集定員に対する入学者の充足率が低下し、地域唯一の高校の在り方や地域

『経済財政運営と改革の基本方針 2025（骨太方針 2025）』（令和7年6月13日 閣議決定）P45。なお、自由民主党・公明党・日本維新の会の検討チームにおいて、国が示す高校教育改革に関する基本方針（高校教育改革に関するグランドデザイン（仮称））を踏まえ、都道府県が作成する計画（高校教育改革実行計画（仮称））に基づく高校教育改革やそれに伴う施設の老朽化対策等の教育環境の整備を計画的かつ円滑に実施できるよう、交付金等の新たな財政支援により支援する仕組みづくりの必要性について言及されている。（令和8年度文部科学省概算要求等発表資料）

コミュニティの活性化とも密接に関わる課題となっている。令和7年3月の中学卒業生数が11,517人に対し、出生者数は7,000人であり、15年後には約4割減少し、今後少子化がますます進行することが見込まれる。

今後は、国における議論や県の現状を踏まえ、これまでの成果や課題を整理しながら、生徒が自らの可能性を発揮し、社会の変化に主体的に対応できる力を育むことができる魅力ある県立高校の新たな姿を目指して、再編整備を含む具体的な方策等について議論し教育の質的転換を進めていく必要がある。

ついでには、ながさきの次世代を担う子どもたちが、多様な人々と協力しながら様々な社会的変化を乗り越え、一人ひとりの豊かで幸せな人生と社会の持続的な発展を実現していく力を育むことができる、魅力ある県立高校を創生するため、下記の事項について検討をお願いしたい。

- 1 すべての生徒が「自己の在り方・生き方」を主体的に考え、多様な学びと社会参画を実現できる魅力ある新しい県立高校の在り方
- 2 社会や地域の期待に応える特色ある再編整備の方向性
- 3 特色ある教育活動を可能にする教育環境整備の在り方

1. すべての生徒が「自己の在り方・生き方」を主体的に考え、多様な学びと社会参画を実現できる魅力ある新しい県立高校の在り方

- (1) 学科・課程の枠を超えた特色ある教育システムの構築
- (2) 遠隔授業・ICT等を活用した個別最適な学びの実現
- (3) 外部専門機関との連携による持続可能な教育体制の構築

2. 社会や地域の期待に応える特色ある再編整備の方向性

- (1) 15年後を見据えた規模の適正化（地域ごとの学校数や学校規模、小規模校の再編整備の在り方）
- (2) 地域住民、地元自治体、産業界などと連携した教育活動の展開
- (3) 地域の将来を担う多様な人材の育成

3. 特色ある教育を可能にする教育環境整備

- (1) 教員の専門性向上と多様な人材活用
- (2) 教育機会の確保に向けた再編後の支援体制の構築
（スクールバスの運行などの通学支援、交通費補助）
- (3) 柔軟な施設設備の整備（地域連携スペース、企業 Labo、魅力ある図書館）

【キーワード】

生徒と教員のウェルビーイングの実現

「画一的な教育」からの脱却と、多様な学びの柔軟な提供

・普通科改革や課程横断型の教育体制、探究学習・文理融合・専門性の深化

探究的・文理横断的な学び、STEAM教育の推進

学科の枠を超えた再編整備や特色ある教育プログラムの開発

一人ひとりの生徒の自己実現と社会参画力の育成

・生徒が自らの生き方を考え、当事者として社会に関わる力を育む

あらゆる学科における大学進学率の向上

全日制・定時制・通信制の垣根を越えたハイブリッド型教育モデルの導入

不登校や多様な背景を持つ生徒への包摂的な学びの保障

・オンラインでの授業、校内支援体制の充実

社会に開かれた教育課程

地域の特色をいかした学校づくりと、地域社会との連携強化

・地元の産業・文化との連携、地域活性化の教育インフラとしての拠点化

・学校運営協議会制度等を活用した地域住民・企業・大学等との協働

・離島留学制度の実施

産業界と連携した専門教育の推進

地域を担う人材育成を図るためのキャリア教育の充実

教育の質を支える教員体制の強化と多様な人材活用

・校種・教科等を越えたチームティーチングや指導連携の推進

・外部専門人材の活用

教育機会の公平性・実現可能性の確保

・単位制の柔軟化、ICTの活用、交通格差への対応